

平成30年度 第3回 行政改革推進委員会 会議録

開催日時	平成30年10月11日（木曜日） 開会・午後1時30分 閉会・午後4時00分
開催場所	上湧別コミュニティセンター 2階会議室
出席委員等	北村会長、高桑職務代理者、菊地・小林・高橋・野田・宮澤委員
欠席委員等	松浦・森委員
職員	住民税務課：前川課長、農政課：岡崎課長、商工観光課：絹張課長、 総務課：濱本課長、企画財政課：佐藤課長、猪熊参事、大塚補佐、斉藤主幹、峯田主任
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開 会</li> <li>2. あいさつ</li> <li>3. 確認事項 (1) 第2回 行政改革推進委員会会議録の確認について</li> <li>4. 議 題 (1) 平成30年度 行政評価・外部評価について (2) 湧別町定員管理適正化計画について（職員数の推移） (3) 湧別町公共施設再配置実行計画（案）について</li> <li>5. その他 (1) 次回の会議日程について</li> <li>6. 閉 会</li> </ol>
会議の公開	公開
傍聴人の数	0名
提出資料	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成30年度 第3回 行政改革推進委員会議案</li> <li>(2) 平成30年度 第2回 行政改革推進委員会会議録</li> <li>(3) 湧別町公共施設再配置実行計画（案）</li> </ol>

## 1. 開 会

佐藤課長が会議の開会を宣言し、委員の過半数以上が出席しているため、委員会の成立を確認した。

## 2. 会長あいさつ

北村会長) お忙しい中、委員会にご出席いただき、ありがとうございます。会議の案内にありますように議案が用意されていますので、協議をよろしくお願いします。  
※あいさつに続き、佐藤課長から会議の進め方について説明し、了解を得た。

## 3. 確認事項

### (1) 第2回 行政改革推進委員会会議録の確認について

北村会長から会議録の記載内容について、各委員に確認したところ修正がないことを確認した。

## 4. 議 題

### (1) 平成30年度 行政評価・外部評価について

第2回の会議に引き続き、NO. 10の生ゴミ処理機購入事業から評価事務を行うこととし、事業ごとに各担当課長から資料の説明を行った。

■生ゴミ処理機購入助成事業、生ゴミ処理容器購入助成事業（住民税務課・前川課長説明）

#### 【意見及び質問】

○ 制度の周知について、先般、「かわらばん」にて周知されていることが確認できました。その結果、平成30年度に1件の申請が合ったと予想している。平成21年度にスタートしている事業であるが、転入者等に周知が行き届いていない気がするので、例えば、分譲宅地を購入したときなどご案内するのも方法と考えるので、提案したい。ただし、2次評価で、「廃止・休止」となっているので、致し方ないとする。

⇒ この事業は生ゴミの減量化を目的に始まった事業ですが、生ゴミの大半が可燃ごみとして処理されている現状から、制度の目的を達成したと考え、廃止と判断している。

#### 【外部評価の判定】

7・廃止とする。特に意見なし。

■多面的機能支払交付金事業（農政課・岡崎課長説明）

#### 【意見及び質問】

○ 事業内容を説明してもらい理解ができましたが、維持工事を進めるにあたって

の優先順の決め方は。

⇒ 5ヶ年計画をまとめて事業が進められている。計画づくりの段階で、施設の損傷状況を見て優先度をつけている。

- 用水路や排水路の雪割りもこの事業で対応しているようで、例えば、国道や町道の除雪作業で堆積した雪を処理することは、この事業で取り組めないだろうか。雪解けが遅れると、畑の作業が遅れる。

⇒ 除雪作業によって畑に堆積した雪を処理するところまでは、今までには実施していない。畑を守ることが事業の目的であるので、対応できるのか確認したいと思う。

#### 【外部評価の判定】

- 2・現状維持とする。特に意見なし。

#### ■上湧別リバーサイドゴルフ場整備事業（商工観光課・絹張課長説明）

##### 【意見及び質問】

- 昨年度の行政評価でも話題になっている。クラブハウスの建設のほかに、機械の購入や更新があると思うがそれらの費用はいくらなのか。今後も機械の更新が見込まれるがどの程度になるか。

⇒ コース整備に関する機械と思いますが、それらの機械は平成24年度からの5ヶ年計画で更新を進めてきて、28年度で一旦終了している。これらの機械は上湧別振興公社時代に使用していたものを引きついでおり、20年を超えるような老朽化したものであり、5ヶ年計画で更新して来たところ。以後の更新は今後の状況を見ての判断になると考えている。草刈機一機当たり、200～300万円ほどになると見込んでいる。

- 現在の工事、外構工事を含めて完了時期はいつになるのか。

⇒ 本年11月末までには完成して、引越しも今年中に完了する。

- ゴルフ場の整備事業、今年度は移転補償に伴うクラブハウス建設工事である。この事業内容は本年度で終了となるが、2次評価の判定は「現状維持」となっているが、今後のゴルフ場を運営するという視点で判定されているのではないか。移転補償の事業であれば、「終了」が妥当でないか。

⇒ ゴルフ場整備事業は総合計画に搭載されている事業であり、今年度の事業のほか今後の整備事業も含まれています。

- 先ほどの課長の説明では、移転補償に伴う整備事業がメインであって、今後のゴルフ場の存続、運営と整備ではないので、「現状維持」では意味合いが少し違ってくる。

⇒ 機械の更新などは計画的に進めており、本年度はクラブハウスの建設と大きな事業費になっている。今後は機械類の更新があって、指定管理者が導入している機械の更新についても考え方を整理することになる。また昨年の行政評価

でゴルフ場を他に用途に利用すべきとのご意見をいただいているが、非常に難しい課題であり、コースがクローズしている期間にどのように活用すべきなのかということになる。今年はクロカンのコースとして整備しやすいことから湧別原野クロスカントリースキー大会で利用している。

- 今回の説明だけで、今後のゴルフ場の継続を含めての判定となると疑問が残る。今年の事業費2億円のうち移転補償があるものの、残りの費用を誰が負担するのか。利用料で回収するのか、その他機械の更新で1機あたり200～300万円が必要であるとの説明もあったし、今後は芝生の更新も必要で大きなお金が必要と感じる。評価調書には職員の考え方として公平と記入しているが、これからのゴルフ場のあり方を考えたとき、我々が判定して「現状維持」と言い切れるのか疑問で、今後の動向をきちんと説明してもらえらるなら理解できるが、我々から質問があつてから説明されるのであれば、疑問符がつくことである。

⇒ 評価調書の事業内容にクラブハウスの建設と記載されているので、それを中心に説明している。今後のゴルフ場については、これまで整備してきましたので、今後も維持していくことになる。芝生の関係ですが、今年も水害の影響でコースの一部が欠損していて補修が必要になってくるが、賃貸している開発局との調整を終えていないので、補修費用がどの程度なのか、掴めていない。

- 補修費用等を町が負担して、どんな風に利用料として負担してもらうのか。
  - ⇒ 利用者のピークは3万人で、この数年は1万人程度である。利用内訳は町内外半々であり、利用料でゴルフ場の運営を行っている。
- 1万人の半分が町民であるが、実際の町民のゴルファー数はどのくらいなのか。利用料だけで賄えずに、町が色々持ち出しをしているので行革として話題になる。
- ゴルフ場の費用対効果が十分に見合ったものなのかということですが、今年クラブハウスが完成するところまで来ているので、2次評価では現状維持となっていると思う。これからこの施設を効果的、効率的に、町の振興を図るための呼び水としてどう活用していくかということは指定管理者に任せるだけでなく、町民なり皆さんが話し合っ、ゴルフ場人口を増やすなど色々な策を考える必要があると思う。
- 今回の評価は、ゴルフ場の今後のあり方は除いて今年度の事業内容を判定することでどうでしょうか。
- 我々委員会として附帯意見を附してはどうか。
- 本年度の工事だけで評価するのであれば、「終了」になるのではないかと。
  - ⇒ 評価調書の表現が悪く申し訳ないです。総合計画でのゴルフ場の整備事業はクラブハウスの建設だけでなく、ゴルフ場の全体の整備と捉えています。クラブハウスの整備のみであれば、「終了」となりますが、全体整備を今後とも行うという意味で、2・現状維持と判定したことを理解していただきたい。

**【外部評価の判定】**

2・現状維持とする。今後、ゴルフ場の運営・あり方を協議する場が必要である。

■**チューリップ・フェア運営事業（商工観光課・絹張課長説明）**

**【意見及び質問】**

意見なし

**【外部評価の判定】**

3. 改善とする。

■**迷惑電話対策機器購入助成事業（商工観光課・絹張課長説明）**

**【意見及び質問】**

○ 詐欺の手口が日に日に巧妙になっているので、町としても広報紙を使いながら啓発を行って欲しい。※委員が「なりすまし詐欺」の実体験を披露した。

**【外部評価の判定】**

2. 現状維持とする。

■**観光のまちづくり推進協議会（商工観光課・絹張課長説明）**

**【意見及び質問】**

○ 評価調書に記載されているように、産業間の連携が大事である。それぞれの団体が色々な活動をしていると思うが、観光のまちづくり協議会のほか、産業間ネットワークという組織できているので、情報の共有、連携することで効果が上がると考えている。今後、組織を活用して町の宣伝をしていくことが必要である。

⇒ 役場が主導していた事業に、民間の人たちが加わることによって、色々な見方や考え方が入る。産業間連携組織とも連携していければと考えている。

○ 町民大学の受講者の中に町外の方が多くいます。例えば、文化センター・TOMのロビーに町を紹介するコーナーを設置するとか、町内の食事処などを案内するコーナーなどがあれば、待ち時間に情報を発信することができるのではないかと思います。

○ 同僚委員が言われるとおり、組織の横のつながりが必要で、縦割りではそれぞれ一生懸命やっている。それがつながると、もっとすごいものになるところがある。

**【外部評価の判定】**

3. 改善とする。

## ■防災ハザードマップ作成事業（総務課・濱本課長説明）

### 【意見及び質問】

- 洪水の被害を受けると想定される区域が広がっていると聞いています。例えば、南町の避難所指定施設は社会福祉会館であり、この施設は耐震改修されていない施設である。今後、公共施設の配置を見直すにあたり、避難所の見直しと連動して進めないとならないと感じる。一度、避難所として指定されると、数年は変更がないと思われるので、その辺の整合性を危惧する。  
⇒ 浸水被害予想区域が広がっていますので、避難所の設置も見直します。公共施設のあり方の見直しによって、避難所指定施設が廃止等になる場合は、被害を受けない区域の他の施設を避難所に指定して、地域住民に周知します。
- 先般の停電のときに感じたことであるが、中湧別地区でのNHKラジオの電波の受信状況があまりよくない。災害時などはラジオから情報が有効なので、NHKに対して受信電波の改善を要請することが必要でないか。  
⇒ 電波状況は確認します。

### 【外部評価の判定】

- 2. 現状維持とする。

## ■ふるさと納税推進事業（総務課・濱本課長説明）

### 【意見及び質問】

- 平成29年度に600件、14,000千円の寄付が寄せられているが、処分実績とは何か説明して欲しい。返礼品は寄付金額の中から支払っているのか。  
⇒ 今までに応援寄付として寄せられた金額を、それぞれの事業に充当したということで、平成29年度までに22,000千円を使わせていただきました。寄付金を返礼品には充てていません。
- 道内では上士幌町に対する寄付が多く寄せられている。主な用途は子育て支援であり、使い道の効果も宣伝していて、そのため賛同者も多くなっている。返礼品のピーアールも必要であるが、用途を明確に発信することも必要でないか。例えば湧別町であれば三歳未満児の保育料を軽減するとか、そういった使い道をピーアールすべきである。
- 上士幌町のふるさと応援寄付は年間14億円で、これらを財源の使い道は子育て支援と子どもの教育に特化していて、その効果なのか人口が増えていて、帯広に近いという立地もあって家族で移住する方々がいるようです。定住対策としても、家を建てたときに1件いくらかではなく、その世帯に何人子どもがあるかによって補助金を出しているようです。また応援寄付のおかげで、学校教育での教員配置を手厚い状態になっている。上士幌町は成功例であるが、学校教育や子育て支援に特化することが、地域の子ども達をきちんと育てることにつながっていると、感動しました。

- 湧別町にも 14,000 千円の寄付があるので、返礼品を目的に寄付を募るのではなく、これらの使い道をピーアールが大事である。
- 寄付金の使い道を寄付者などに発信することで、賛同者が増えて実際に寄付者がその町に来てくれる、そこまでうまく回れば成功と思う。

#### 【外部評価の判定】

3. 改善とする。寄付金の使い道を町内外へピーアールを検討すること。

※ 午後 3 時 3 0 分となったことから、一旦、評価事務を打ち切り、湧別町公共施設再配置実行計画（案）についての説明を行った。なお、湧別町定員管理適正化計画についても、次回の会議で議題とすることとした。

#### (3) 湧別町公共施設再配置実行計画（案）について

企画財政課・猪熊参事から計画書（案）を説明し、質疑については次回の委員会で受けることとした。

### 5. その他

#### (1) 次回会議日程について

協議の結果、10月23日（火）の午後1時30分から開催することとした。

### 6. 閉 会